

貫井図書館だより

令和 7 年 3 月号 Vol. 71

発行者：練馬区立貫井図書館
指定管理者
㈱図書館流通センター
発行日：令和 7 年 3 月 5 日

NUKUI AWARD 2024!

貫井図書館では、前年 1 年間で皆さんの心に残った本を応募してもらう
NUKUI AWARD を毎年開催しています。

2024 年度の開催となる今回は約 90 通の応募がありました。ありがとうございました！

応募していただいた本やその関連書籍をまとめて特集コーナーに置いています。

応募内容はリスト化した冊子をご用意していますのでそちらをご覧ください。

貫井図書館をご利用の皆さんが選んだおススメの一冊を是非手にお取りください！

※特集コーナーに置かれていない本はカウンターにて予約ができます。お気軽にお問い合わせください。



練馬区立美術館情報

『 トーク・トーク 40 年のコレクションと展覧会 』

期間:令和 7 年 3 月 7 日(金)~3 月 30 日(日)

1985 年 10 月に開館した練馬区立美術館は 2025 年に 40 周年を迎えます。これを機に、ゆかりのアーティストや新旧の学芸員等によるトークイベントと、ロビーコンサートが開催されます。またトークに合わせた約 20 点の収藏品や資料が展示されます。

練馬区立美術館が 40 年の間に開催した展覧会は 200 本以上を数え、当初 1 点のみであった収藏品は 7,500 点あまりとなりました。このコレクションの形成と展覧会開催の背景には、開館前から現在まで、数多くの関係者による様々な対話の積み重ねがありました。

連続トークでは、この歴史を紡いできた多様な関係者が集い、準備室時代の思い出から、初期の展覧会の裏話、コレクション形成の軸となった作家作品や、近年話題となった展覧会まで、コレクション及び展覧会について振り返ります。

※イベントの詳細情報は練馬区立美術館ホームページをご覧ください。



貫井図書館スタッフの おすすめ本のご紹介



19世紀イギリスの上流社会の礼儀作法や生活様式を紹介する一冊です。恋愛や健康、家庭内のエチケット、食事や旅行のマナーなど多岐にわたって紹介しています。紳士淑女のふるまいを学べるこの本は現代人必見です。

『ヴィクトリア朝淑女の流儀紳士のたしなみ』
サラ・A・クリスマン／編著 大間知知子／訳 原書房
2024 年



丁寧な話そうと意識するばかりにおかしくなる言葉、「盛りすぎ敬語」の違和感を、実例を紹介しつつその問題点を解き明かす一冊。
京都暮らしのコピーライターが心地よい言い換えを提案します。

『その敬語、盛りすぎです!』
前田めぐる／著 青春出版社
2024年



日本で一番お米に詳しい JA 全農米穀部が監修した、簡単で最高においしいお米のレシピを紹介。

さらに「抜群にうまい」ごはんの保存法や、全国自慢の 47 銘柄食味マップ＆ごはんのお供図鑑など、お米のおいしさを再発見できる一冊。

『JA 全農が炊いた!「日本一うまいお米の食べ方」大全』
JA 全農米穀部／監修 主婦の友社
2024 年



長屋住まいの庶民から将軍まで、江戸で生活する人々の暮らしや文化について解説した絵事典です。

小説やドラマにもたびたび登場する江戸時代の、知っているようで知らなかった江戸っ子たちの日常がよみがえります。

『江戸時代の暮らしと文化の絵事典』
安藤 優一郎／監修 成美堂出版
2024 年



色々なことでこまっている動物たち。
おふろがきらい、かたづけがにがてな
ど、人間にも「あるある！」なことから、
動物たちならではのこまりごとま
で。どうしてこまっているのかな？
想像しながらお話を楽しめます。

『こまったこまった』
ふしみみさを／文 山村浩二／絵 アリス館
2024年



私たちの食生活に欠かせないお米。
この本では、田植えや草刈り、稲刈りから脱穀など、お米づくりの場面で活躍するマシン達を紹介されています。
一年を通して多様に変化する田んぼの風景も味わえます。

『がんばれ！ 山ぽマシーン
くらしをささえる乗りもの』
池田菜津美／文 星野秀樹／写真 新日本出版社
2024年

3月・4月の行事

子ども向け行事

 3/22 (土)
 貫井中学校英語部
 英語おたのしみ会

 4/5 (土)
 映画「おしりたんてい」上映会

 4/26 (土)
 子ども読書の日記念行事
 「第18回よみきかせ大臣」

一般向付行事

一般向け行事はありません。

* 詳しくは、館内掲示板のポスター・チラシ・
練馬区立図書館のホームページをご覧ください。

